

オリンポス山への道のり

仲村 夏海

もしも自分が宇宙飛行士になったら、私は火星のオリンポス山に登ってみたい。火星という星は、宇宙好きなら誰でも一度はあこがれたことのある星だと思う。水の痕跡であったり、たくさんのクレーターがあるなど、もしも火星に行ったら調べてみたいことはたくさんあるが、私が一番興味があるのは、オリンポス山である。

オリンポス山は、なんと、エベレストの三倍ほどの高さもあり、カルデラの中に富士山が入るといって、想像できないほどの大きさである。そんな山の頂上で見る景色は、一体どのような素晴らしいものなのだろうか。

しかし、これには一見、問題があるように見える。まず、エベレストの三倍もあるオリンポス山に登ることははたして可能なのかという問題だが、火星の重力は地球の三分の一ほどなので、運動が苦手な私でも、体が軽く

なり、地球に居るときよりも運動はできるよ
うになる。ているはずなので、大丈夫だろう。
だが、火星では月と違い、強い風が吹くこと
がある。きっとオリンポス山に登る上で、一
番の問題となるのは風だと思う。だが、忘れ
てはいけないのが、宇宙服の存在である。火
星へ行く宇宙服ともなれば、とても高性能だ
と思うので、たとえ砂嵐が吹こうと、体を固
定することができると思う。

問題はまだまだ多いと思うし、山頂へたど
りつくのも簡単なことではないと思う。それ
ども、小さな頃からのあこがれであるオリン
ポス山に登ることができたら、どんな苦労も
飛んでいってしまうと思う。

しかし、私は残念ながら泳ぐことができな
い。宇宙飛行士になる条件の一つは、泳げる
ことなので、太陽系最大級ともいえるオリン
ポス山に登るためには、近所の小さなプール
で練習しなくてはならない。宇宙飛行士への
道のり、いや、オリンポス山への道のりは、

どうやら長く険しいみ
たいだ。